

# 田谷 行平展

TADAJUNI  
KOUJHEI

6.3<sub>土</sub> ▶ 8.28<sub>月</sub>

■会場 / TOKUBETU<sub>H</sub><sub>I</sub> 企画展示室

- 開館時間 / 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は開館、翌日休館日)、  
12月28日~1月4日
- 入館料 / 一般300円・65歳以上200円・小中学生200円  
障害者手帳をお持ちの方(介助者1名を含む)無料  
全15棟をご覧になれます
- 主催 / 安芸高田市教育委員会・八千代の丘美術館

## ワークショップ

### 『染色絵の具でTシャツに絵を描こう』

日時: 8月5日(土) 13:00~15:00 当日のみ入館無料  
会場: 八千代の丘美術館研修室  
定員: 15名  
対象: 小学生~大人(低学年は保護者同伴)  
参加費: 1000円

※汚れてもよい服装でお越しください。



安芸高田市立 八千代の丘美術館

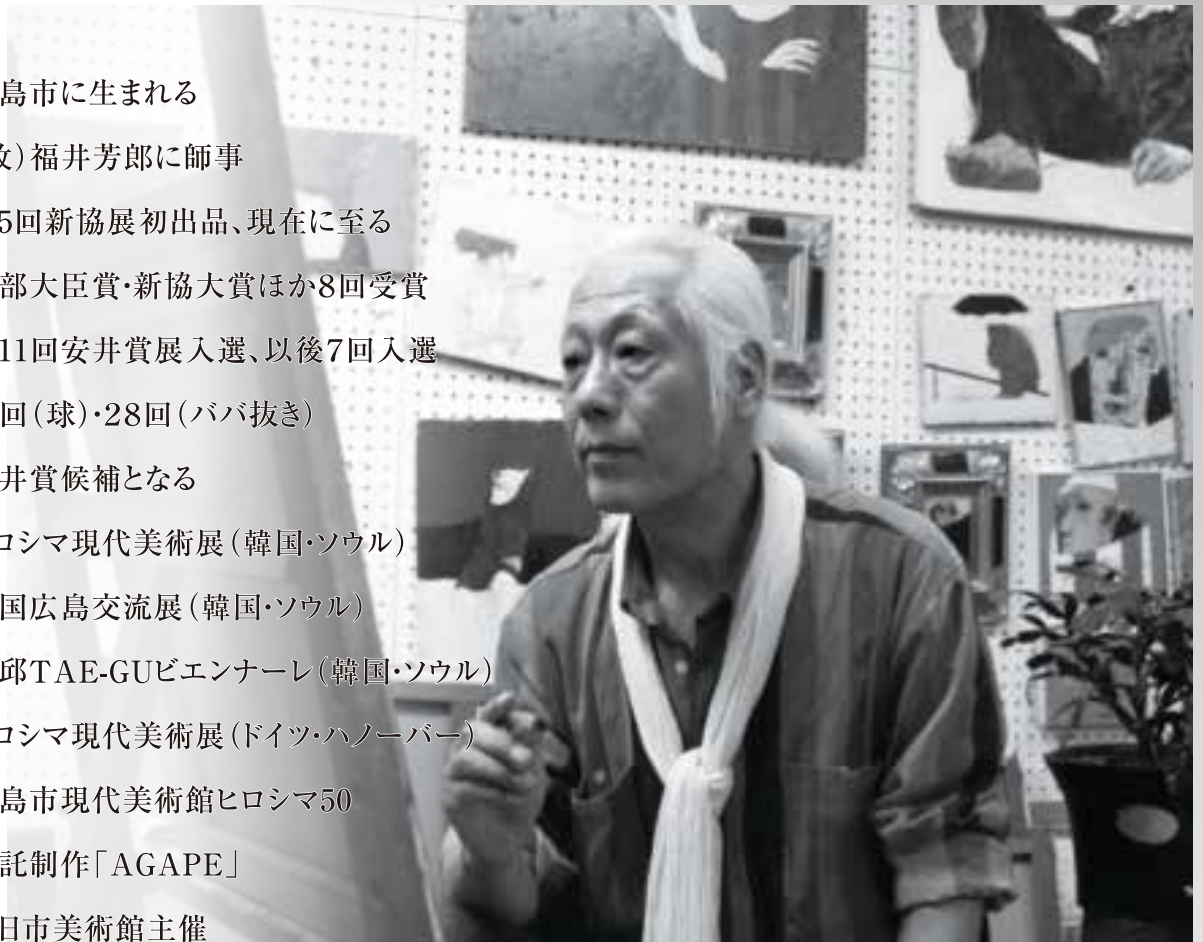
〒731-0302 安芸高田市八千代町勝田494-7 TEL (0826) 52-3050

時の流れは時にゆっくりと、時には目にも止まらない速さで過ぎ去って逝く。人はそれに翻弄されながら日々の時間を消化していく。私とは何の関わりもなく、社会は刻々と時代を作り続け、止めることのできない時代の流れに迷い、大切な感情、悲しみを時間が蒸発させ真実が見えなくなることさえある。目に見えないもの、時が払拭しようとするものを、私の手で描き止めたい。そこに生きているからこそ、この色を拾い、このカタチを拾う。この思いを表現することが自分にできる最大の意味だと信じ、格闘する。その作業が、私の<生きること>になってしまった。

## 田谷行平 プロフィール

TADANI KOUHEI

- 1942年 広島市に生まれる
- 1959年 (故)福井芳郎に師事
- 1963年 第5回新協展初出品、現在に至る  
文部大臣賞・新協大賞ほか8回受賞
- 1967年 第11回安井賞展入選、以後7回入選  
25回(球)・28回(ババ抜き)  
安井賞候補となる
- 1993年 ヒロシマ現代美術展(韓国・ソウル)
- 1994年 韓国広島交流展(韓国・ソウル)
- 1995年 大邱TAE-GUビエンナーレ(韓国・ソウル)
- 1996年 ヒロシマ現代美術展(ドイツ・ハノーバー)  
広島市現代美術館ヒロシマ50  
委託制作「AGAPE」
- 2013年 廿日市美術館主催  
「生命を凝視めて」2人展
- 2015年 泉美術館主催「ヒロシマ'70」3人展



安芸高田市立 八千代の丘美術館

〒731-0302 安芸高田市八千代町勝田 494-7 TEL (0826) 52-3050

